

平成22年度 京都府立綾部高等学校（東分校全日制） 学校経営計画（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上と希望進路の実現 ・基本的生活習慣の確立 ・豊かな人権感覚と人権尊重の実践的態度の育成 ・健康及び体力の維持・向上 ・地域社会から信頼される学校づくりの推進 	<p>（成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい社会情勢であったが、3年生は希望進路をほぼ達成した。 ・きめ細かな個に応じた学習指導ができた。 ・全体的に落ち着いた学校生活の中で、東祭、即売会、クリスマスケーキ作り等の行事に活発に取り組めた。 ・農業関係学科の専門性を生かして、地域に根ざした取組ができた。 <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業関係学科の専門性を活かした進路指導を充実させる必要がある。 ・生活指導や学校不適応生徒の対応等において、一層組織的な取組を充実させる必要がある。 ・新学習指導要領への移行に向けて、農業専門学科としての教育課程を見直し、充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の確保と教科指導力の充実により、生徒の学ぶ意欲を向上させる。 ・希望進路を実現させるため、3年間を見通し系統的組織的な進路指導を行う。 ・規範意識を高め、豊かな人間性を育てる生徒指導を行う。 ・基本的人権を尊重する人権教育を推進する。 ・健康安全教育を着実に推進する。 ・地域・家庭及び中学校との連携を強化する。 ・HPや広報誌等を通じて広報活動を一層充実させる。 ・農業クラブ活動、部活動の一層の活性化に努める。

分掌教科	項目（重点目標）	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	校内内規の整備	各部の内規を検討し、デジタル化を進める。 内規集を作成する。		
事務部	開かれた学校としての窓口業務を行う。	親切・迅速・丁寧な窓口業務を行う。 来客者・電話対応を丁寧・確実に行う。		
教務部	学力向上と新教育課程編成	将来構想委員会を中心に新教育課程の編成を進める。 生徒の基礎力向上のための具体策を研究する。		
生徒指導部	基本的生活習慣	あいさつをする。（オアシス運動） 入室マナーと言葉遣いを正させる。		
進路指導部	希望進路の実現	進学指導の充実 就職試験対策を充実させ、就職試験に打ち勝つ生徒の育成を行う。		
保健部	基本的生活習慣の確立	1年生に食育アンケートを実施し、京都府との比較・検討をし、問題のある部分について改善するよう啓発する。 保健部主催の「健康教室」を実施する。		
人権教育部	豊かな人権感覚と人権尊重の実践的態度の育成	効果的かつ計画的な人権学習を進めるために、学年との連携を強化し、人権学習の充実を図る。 分掌や教科と連携し、あらゆる機会をとらえて、豊かな人権感覚と人権尊重の態度を育てる。		
農場部	専門科目の授業、農業クラブ活動を通して、教科指導・生徒指導の充実を図る。	生徒に自信をつけさせ、積極的な取組を手助けする。 専門学科の教科指導、総合実習、農業クラブ活動を通して、農業の素晴らしさや厳しさを学ぶ中で、学力、体力、基本的生活習慣の向上を持たせる指導をする。		
第3学年部	進路指導	個別に進路指導を行う。 希望進路に応じた学習活動の実施		
第2学年部	基礎学力の習得、学力の向上	日々の授業を積極的に取り組むように指導する。 基礎学力を習得させるために各教科と密に連絡をとり指導する。		

分掌 教科	項目（重点目標）	具体的方策	評価	成果と課題
第1学年部	学力の向上	毎時間の授業を大切にさせる。 授業規律を確立させる。		
国語科	日本語を正確に理解する能力の育成	読書習慣をつけるために、適宜読書レポートを、また長期休業中に読書感想文を課し、読書指導を充実させる。 漢字の小テストを継続しておこなう。		
地歴・ 公民科	教科の内容・方法・教材・評価の工夫	教科内容の大幅な精選と重点化を図る。 興味・関心を引き出す教材・教具を開発する。		
数学科	学力の向上	基礎補充用のプリントを作成し、適宜補習を実施する。 少人数講座を活用したきめ細かい指導に心がける。		
理科	学力の向上	正しい日本語で、単純な指示で授業展開する 適宜、授業外での個別指導を行う。		
保健体育科	生涯体育につながる資質や能力の育成	意欲的に運動に取り組ませる。 服装・整列など規律を徹底させる。		
芸術科	基礎技術を充実させ自ら学ぶ意欲を育てる。	授業規律を大切にする。 実技指導を通じて基礎力を養う。		
英語科	学力の定着	オリエンテーションや考査前などの時期をとらえて、学習習慣をつけさせるための指導を行う。 生徒の実態にあわせた指導を行う。		
家庭科	自立する力を育む授業の展開	生徒の実態に合わせた教材を工夫する。 年間を通して、教科書・ノート等の準備物点検を行う。		
情報科	各種コンピュータ関連資格の取得	日本語ワープロ検定3級を取得させる 情報処理技能検定3級（表計算）を取得させる		
農業科	専門教育の推進	学習規律の確保する。 生徒の興味関心の向上させる授業・実習を展開する。		
園芸科	専門教育の充実	落ち着いた雰囲気の中での学習規律に努める。 生徒の興味・関心を高める授業・実習を実施する。		
農芸化学科	学科の特色充実	特色ある教科内容の充実を図る。 専門教育の充実を目指し、教職員の研修に努める。 本校施設・設備の活用と専門技術を提供する。		
次年度に向けた改善の方向性				